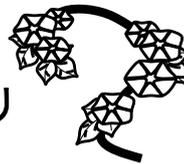


# 週刊花だより



2023.7.20(木)

	植物名	科名	状況	場所	一口メモ	
花畑	ヒマワリ (サンフィニティ)	キク	開花 始め	ハーブの丘(もみじ橋近くの丘)	花畑での親費用としてだけでなく、食用油や石鹼の原料にもなる夏の風物詩です。この品種は枝分かれをし、小さな花を沢山咲かせます。	
	サギソウ	ラン	開花 始め	花木園菖蒲田	サギが飛ぶ姿によく似た白い花を咲かせます。	
	キキョウ	キキョウ	開花中	日本庭園、こもれびの丘南斜面	根が生薬にもなります。蕾が風船のように膨らむことから英名でバローンフラワーとも呼ばれています。	
	ダリア	キク	開花中	ダリアの庭、こもれびの里	花形のタイプでも十数種に分類されるほど非常にたくさんの品種があります。	
	カワラナデシコ	ナデシコ	開花中	秋の七草園(No.16交差点周辺)	一般的に外来種をナデシコ、在来種をカワラナデシコやヤマトナデシコと呼び、外来種との区別化をしていたものが標準和名となりました。	
	ヤブミョウガ	ツクサ	開花中	ふれあい広場北側斜面 西立川口ぶらぶら坂、こもれびの家周辺	葉の形や質感がミョウガに似ています。種子でも繁殖しますが、長い地下茎からの増殖もあります。	
	コキア	アカザ	生育中	No11交差点	夏は葉が柔らかく、ふわふわとした姿を楽しめます。夏～秋に成る実は食用で、「とんぶり」という秋田県の特産品として知られています。	
	草花	トケイソウ	トケイソウ	開花中	花木園売店前 はなみどり文化センターグリーンカーテン	花卉、おしべの形が時計に似ているため名付けられました。熱帯性の植物で、パッションフルーツの仲間として知られています。
		宿根フロックス	ハナシノブ	開花中	西立川口ぶらぶら坂下(No.9交差点周辺) ハーブ園	オイランソウ、クサキョウチクトウとも呼ばれますが、キョウチクトウとは無関係で、毒はありません。
		ミソハギ	ミソハギ	開花中	花木園菖蒲田、さざなみ広場	ピンク色の細かい花を花茎の先にたくさん付けます。
		クリサンセマム	キク	開花中	もみじ橋周辺	キクの園芸種です。花数が多く品種も多様なため、こもりとした可愛らしい花姿を楽しむことができます。
		ヒヨウタン(実)	ウリ	見頃 始め	こもれびの里	古くから、乾燥させ容器や装飾品などに加工されています。
		ハス	スイレン	見頃	さざなみ広場、こもれびの里	実の形がハチの巣に似ていることからハチスと呼ばれ、変異してハスとなりました。原産地はインドです。
カサブランカ	ユリ	見頃 終盤	西立川口ぶらぶら坂	ユリの王様とも呼ばれ、純白大輪の花をつけます。香りがとても良い品種です。		
樹木	コブシ	モクレン	実	こもれびの里、砂川口 こもれびの里休憩棟	初春につける蕾の形も人の拳に似ていることから名前が付いたとされていますが、この時期につける実も拳を握った形に似ています。	
	トチノキ	ムクロジ	実	こどもの森わくわくゲート	褐色のピンポン玉程度の大きさの実をつけます。	
	ホオノキ	モクレン	実	ハーブの丘	突起のある長楕円形の大きな実をつけ、秋になるにつれて熟してくると、綺麗な鮮紅色になります。	
	アナベル	アジサイ	見頃 終盤	花木園展示棟前、梅園前斜面	アジサイの仲間です。開花につれ薄緑色から白色に変わります。どこを剪定しても翌年花をつける性質があります。	
	カシワバアジサイ	アジサイ	見頃 終盤	西立川口ぶらぶら坂下	北米原産のアジサイです。白色の花を円錐状につけ、横向きか下に垂れ下がつて咲きます。	
ハーブ園	カルーナ	ツツジ	開花中	花木園売店前	非常に寒さに強い植物で、寒い地域ではグランドカバーとしても用いられます。品種数も多く世界中で栽培されています。	
	エキナセア	キク	開花中	ハーブ園、花木園売店前	根の部分に含まれている有効成分には、免疫機能を高める働きや抗炎症作用があります。	
こもれびの丘	ヤブラン	キジカクシ	開花中	こもれびの丘南斜面、日本庭園、園内各所	耐寒性・耐暑性が非常に強く、日向でも日陰でもよく育ちます。	
	ヤブカンゾウ	ユリ	開花中	こもれびの丘南斜面	この花を見て憂いを忘れるという中国の故事からワスレグサと言う別名があります。	
	オミナエシ	オミナエシ	開花中	秋の七草園(No.16交差点周辺) こもれびの丘南斜面	同じような花で、白花のものをオトコエシと呼びます。「ヘシ」は圧倒する美しさを意味します。	
フシグロセンノウ、カリガネソウ、オオバギボウシ、コマツナギ等の夏の山野草が開花中です。						
盆栽苑	盆栽苑 床の間展示	水石「鞍馬石」と添え草「書帯草」をご覧ください。				